

予防接種をする前に必ずお読みください



麻疹風疹混合（MR）予防接種について

麻疹とは・・・

麻疹ウイルスの感染によって起こります。感染力が強く、飛沫・接触だけではなく空気感染もあり、予防接種を受けないでいると、多くの人がかかり、流行する可能性があります。高熱・せき・めやに・発疹を主症状とします。主な合併症としては、気管支炎・肺炎・中耳炎・脳炎があります。脳炎は約 1,000 人に 1~2 人の割合で発生がみられます。また、麻疹にかかった人約 1,000 人に 1 人が死亡する重症の病気です。

風疹とは・・・

風疹ウイルスの飛沫感染によって起こります。潜伏期間は 2~3 週間です。軽いかぜ症状で始まり、発疹・発熱・後頸部リンパ節腫脹などが主症状です。そのほか、眼球結膜の充血もみられます。合併症として、関節痛・血小板減少性紫斑病・脳炎などが報告されています。血小板減少性紫斑病は 3,000 人に 1 人、脳炎は 6,000 人に 1 人くらいです。大人になってかかると重症になります。

妊婦が妊娠初期に風疹にかかると、先天性風疹症候群と呼ばれる先天性の心臓病・白内障・聴覚障害・発育発達遅延などの障がいを持った児が生まれる可能性が非常に高くなります。

*麻疹風疹混合（MR）ワクチンの対象年齢・接種回数

| | < 第 1 期 > | < 第 2 期 > |
|------|--------------------------------------|--------------|
| 対象年齢 | 1 歳～2 歳未満 (1 歳になったらなるべく早く接種しましょう) | 小学校就学前の 1 年間 |
| 接種回数 | 1 回 | 1 回 |

*麻疹風疹混合（MR）ワクチンについて

麻疹ウイルス及び風疹ウイルスを弱毒化してつくった生ワクチンです。麻疹ワクチンも風疹ワクチンも 1 回の接種で 95% 以上の子どもは、免疫を得ることができますが、つき損ねた場合の用心と、年数がたつて免疫が下がってくる目的で、小学校就学前の 1 年間に 2 回目の接種が行われるようになりました。予防接種を受けても、お子さんの体質や体調によって完全な免疫が出来ないこともあります。予防接種を受けておくと、例えかかってもその多くは軽くてすみます。



***麻しん風しん混合（MR）ワクチンの副反応について**

主な副反応としては発熱と発疹です。他に注射部位の発赤・腫脹・硬結などの局所反応、じんましん・リンパ節腫脹・関節痛・熱性けいれんなどがみられます。重大な副反応としては、ごく稀にアフラキシー・急性血小板減少性紫斑病・脳炎・けいれんがあります。気になる症状があるときは、医師にご相談ください。

***ワクチン接種後の注意**

- ①接種後 30 分間程度はショックやアフラキシーがおこることがありますので、医師とすぐ連絡がとれるようにしておきましょう。
- ②接種後に高熱やけいれんなどの異常が出現した場合は、速やかに医師の診察を受けてください。
- ③接種後 4 週間は体調に注意しましょう。また、接種後腫れが目立つ時や機嫌が悪くなった時などは、医師にご相談ください。
- ④このワクチンの接種後、違う種類のワクチンを接種する場合には、4 週間以上の間隔をあける必要があります。
- ⑤接種部位は清潔に保ちましょう。入浴は問題ありませんが、接種部位をこすことは止めましょう。
- ⑥接種当日は激しい運動は避けてください。その他はいつも通りの生活で結構です。

* 「予防接種と子どもの健康」より抜粋